

結核が心配なあなたへ



結核ってどんな病気？

結核は結核菌によって起こる感染症です

せきやくしゃみに含まれた結核菌を吸い込むことで感染します。

※結核菌は食器やコップ、衣類や道具類をとおして感染することはありません。

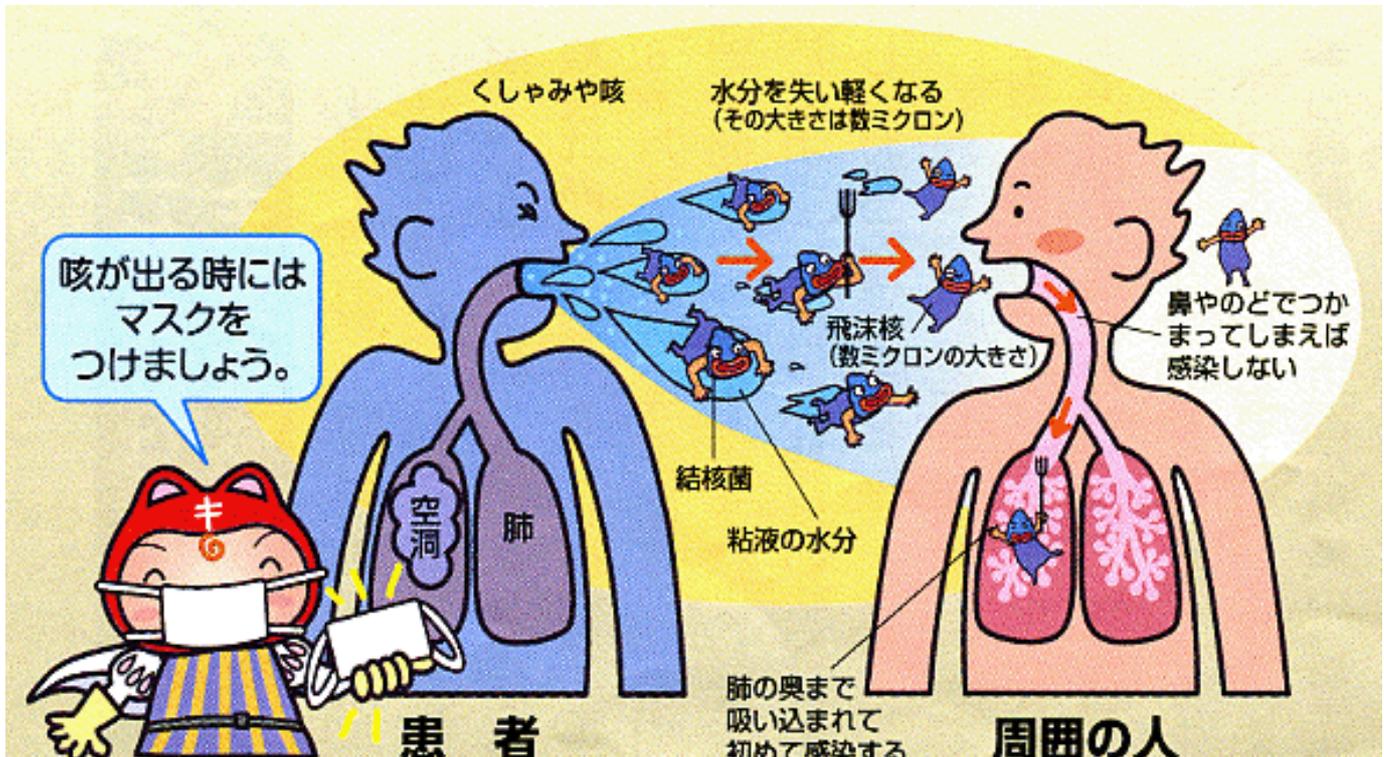
結核患者さんがすべて人に感染させるわけではありません

たんの中に結核菌が含まれていると、人に感染させる恐れがあります。

しかし治療すれば2～3週間ほどで症状は軽くなり、菌の量も減少していきます。

また、発見が早く、たんの中に菌が含まれていないようなら、感染することはありません。

※抗結核薬を6～9ヶ月間、定期的に飲むことで治すことができます。



結核になるとどんな症状がでるの？

結核を発病するとせき、たん、発熱などの

かぜによく似た症状が続きます。

また、良くなったり悪くなったり、すっきりしないのが特徴です。(人によってはこのような症状がない場合もあります。)

※上記のような症状が2週間以上続いたら、早めに医療機関を受診しましょう。

高齢者は症状が出にくいので、食欲不振や体重減少等にも留意しましょう！



結核の感染と発病はちがうの？

結核菌を吸い込んでもすべての人が感染し、発病するわけではありません

菌は肺まで到着する途中で、鼻やのど、気管支の粘膜にひっかかり、からだの外に追い出されます。しかし、しぶとく菌が体内に残ることがあります。

「感染」は、結核菌が身体に入り、免疫によって結核菌が閉じ込められた状態。

「感染した」だけの状態なら、周囲の人にうつす（感染させる）心配はありません。

「発病」は、感染した後、結核菌が活動を始め、菌が増殖して身体の組織を冒していく状態。

* 感染しても発病するのは 1～2割程度 で、8～9割の人は発病しません。

発病のパターンは2つ

■初感染者の発病(小児・若者)

未感染者が結核を吸い込み感染し、引き続いて病変が進展し発病すること。

半年～2年

発病

■既感染者の発病(高齢者)

初感染からかなりの年齢を経て発病することをいう。加齢や免疫力の低下に伴い発病すること。

5年・10年・20年、忘れたころに…

* 最近の結核患者の多くは高齢者による既感染の発病です。



結核を発病しやすい人がいるって本当？

心配だな

次のような方々が、結核菌に感染した場合、発病しやすいだけでなく治療が困難になりがちです



- 糖尿病の人
- ステロイド剤や抗ガン剤による治療を受けている人
- 腎不全などの腎臓病の人
- HIVの感染による免疫不全の人
- 手術後に体力が低下した人
- ストレスを強く受けている人
- 乳幼児

結核の感染と発病を確認するためには？

結核患者と濃厚接触し、感染を受けた確率の高い接触者に保健所が健診を行います。

◆ツベルクリン反応検査

結核菌に感染しているかどうかを見る検査です。腕に検査液を注射し、48時間後に判定します。結果はBCG接種の影響を受けることから、Tスポットと併用し、判定には総合的な判断が必要となります。（主に乳幼児を対象）

◆Tスポット検査

血液検査（1回採血）によって結核の感染を調べることができます。BCG接種の影響を受けないため、ツベルクリンに代わって行われています。通常、**感染から2～3ヶ月後**に実施します。

◆胸部エックス線検査

結核を発病しているかを調べる検査



◆喀痰検査

たんの中に結核菌がいるかどうかを調べる検査



結核を防ぐために大切なことは？

その1 『結核は弱ったときにやってくる』

結核菌に感染した場合、からだの抵抗力が衰えたときに発病しやすくなります。普段から抵抗力をつけるような生活を心がける事が大切です。

- 睡眠はしっかりとりましょう ○ 栄養のバランスがとれた食生活をしましょう
- 適度な運動を楽しみ、心身ともにリラックスしましょう

その2 『長引くせきは赤信号』

結核の初期症状はかぜによく似ているため、市販のかぜ薬などで対応しがちです。「2週間以上続くせき」などの症状があるときは、結核の疑いがあると考え、医療機関を受診しましょう。また、過去に結核患者さんが身近にいた場合は、医師に伝えることも診断の参考になります。



兵庫県洲本健康福祉事務所（洲本保健所）
健康管理課 TEL 0799-26-2062